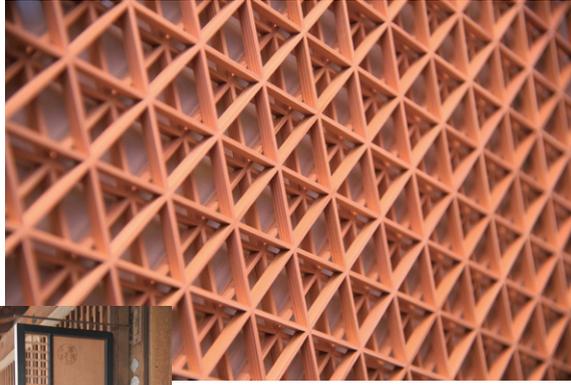




九州国立博物館で行われた
「大川匠の世界コレクション2013」



TOP VOICE

建具づくりは、お客さまの思いを形にする仕事。これまでも、マンションの寝室のカーテンを建具に替えたり、三角の窓に建具を取り付けるなど、さまざまなご要望にお応えしてきました。イメージの段階でもかまいません。お気軽にご相談ください。

伝統的な建具から、カフェや電車の内装まで。 持ち前のチャレンジ精神で、新たな試みも。

宮崎建具



宮崎建具

所在地/〒831-0041

福岡県大川市大字小保13番地

代表者/宮崎 宏樹

TEL0944-86-3550

FAX0944-86-3550

[URL] <http://www.miyazakitategu.com/>

[E-mail] info@miyazakitategu.com

創業/1927年(昭和2年)

営業時間/9:00~18:00

定休日/土日

1927(昭和2)年創業の宮崎建具。工房を守っているのは、2代目の宮崎楠男さんと息子の宏樹さんです。「建具のなかでも骨もんをメインにつくっています」と、宏樹さんが言う“骨もん”とは、障子や格子戸のように骨組みが見える建具のこと。それもデザイン性の高い建具が多いといいます。「たとえば書院障子だったら、丸く曲げた骨を入れてお月見をイメージさせるデザインにしたり…」このように精密さが求められる建具は、CADによる製作図面の描き起こしに始まり、材料の目利きから製作、仕上げにいたるまで、高いレベルで取り組まなければなりません。



つくるものは建具だけにとどまりません。九州国立博物館で行われた「大川匠の世界コレクション2013」では、総檜造りのベッドルー



ムが来場者の注目を集めました。また、弁当箱を引き出しに見立てた家具膳や、弁当箱のふたに組子をはめ込んだ組子膳は、大川の飲食店で愛用されています。

ホテルのクローゼットや電車の内装など、製造から施工まで手がける仕事も珍しくなく、遠くは長野まで取り付けに行ったこともあります。「変わった建具や難しい建具に取り組むのが一番面白い。伝統を守りながら、新しいものにもチャレンジしていきたいですね」と意欲を見せる宮崎さん。カフェの内装や展示会ブースの装飾に、そのチャレンジ精神がキラリと光ります。

